

平成30年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年9月28日

上場会社名 山下医科器械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3022 URL http://www.yamashitaika.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 尚登
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員管理本部長(氏名) 伊藤 秀憲 (TEL) 092-726-8200
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績(平成29年6月1日~平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	13,556	14.2	△128	—	△105	—	△85	—
29年5月期第1四半期	11,868	3.5	△36	—	△30	—	△30	—

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 △84百万円(—%) 29年5月期第1四半期 △88百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	△33.97	—
29年5月期第1四半期	△11.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	18,641	5,741	30.8
29年5月期	17,722	5,850	33.0

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 5,737百万円 29年5月期 5,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年5月期	—	—	—	—	—
30年5月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日~平成30年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,571	13.3	4	△29.1	41	23.3	23	158.3	9.27
通期	57,430	9.4	240	28.7	307	19.1	153	690.6	61.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(注) 特定子会社の異動に該当しませんが、平成29年6月1日付で株式会社トムスの全株式を取得したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めています。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期1Q	2,553,000株	29年5月期	2,553,000株
② 期末自己株式数	30年5月期1Q	47,533株	29年5月期	47,533株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期1Q	2,505,467株	29年5月期1Q	2,505,516株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動による影響が懸念されるなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

医療業界におきましては、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが進められる中、平成30年度の診療報酬・介護報酬のダブル改定に向けた議論が本格化しております。特に、団塊の世代が75歳以上となる平成37年、またその先の将来を見据え、より効果的・効率的かつ将来のニーズの変化にも対応可能な医療・介護提供体制の確保を視野に、改定案の検討がなされております。また、各都道府県においては、地域医療構想に基づく第7次医療計画の立案が進められるなど、今後、各医療機関の経営への影響が広がることが予想されます。

当医療機器業界におきましては、異業種からの参入や業界再編等の動きもみられるなど、業者間の競争がますます激化する中、医療機関の経営改善やコスト削減に資するサービスなど、従来以上の提案力を求められる状況となっております。

このような状況の中、当社グループでは、昨年9月に開設した長崎TMSセンターの稼働体制も軌道に乗り、物流体制がさらに充実したことから、これによる迅速かつ安定的な商品供給体制を活かし、基盤事業であるSPD事業の拡大を図っております。また、本年6月1日付で透析分野に強みを持つ株式会社トムスをグループ化し、同分野におけるグループ間のシナジー効果を早期に発揮すべく、営業体制の構築に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、株式会社トムスを連結子会社に加えたことから、売上高は135億56百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。一方、利益面につきましては、病院施設新築移転等の大型案件が無かったため、一般機器分野の売上減少に伴い売上総利益が減少したこと、また、長崎TMSセンター稼働に伴い人件費及び設備管理費が増加したこと等により1億28百万円の営業損失（前年同四半期は36百万円の営業損失）となり、経常損失は1億5百万円（前年同四半期は30百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は85百万円（前年同四半期は30百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、大型設備案件の減少に伴う医療機器設備や放射線機器の売上減少により18億6百万円（前年同四半期比11.0%減）となりました。一般消耗品分野では、SPD契約施設における医療機器消耗品の売上増加により52億90百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、補助人工心臓等の心臓循環器消耗品やI V E等の内視鏡処置用医療材料等の売上増加により売上高は36億63百万円（前年同四半期比14.5%増）となりました。整形、理化学、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、人工関節や骨折治療材料等の整形消耗品や、透析材料等の売上増加により売上高は24億66百万円（前年同四半期比60.4%増）となりました。なお、当第1四半期連結累計期間より連結子会社とした株式会社トムスの売上につきましては、専門分野での計上となります。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、電子カルテシステム等の医療IT機器の売上増加により2億45百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は134億73百万円（前年同四半期比14.3%増）、セグメント利益は12百万円（前年同四半期比88.6%減）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	前年同期比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	2,030	17.2	1,806	13.4	△224	89.0
一般消耗品分野	4,774	40.5	5,290	39.3	516	110.8
低侵襲治療分野	3,199	27.2	3,663	27.2	463	114.5
専門分野	1,537	13.0	2,466	18.3	929	160.4
情報・サービス分野	242	2.1	245	1.8	3	101.5
小計	11,784	100.0	13,473	100.0	1,689	114.3

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、主としてグループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しており、当四半期の売上高は1億2百万円（前年同四半期比49.3%増）セグメント利益は21百万円（前年同四半期比増479.3%増）となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は18百万円（前年同四半期比0.4%減）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、186億41百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億19百万円増加いたしました。流動資産は、主に受取手形及び売掛金の増加により、前連結会計年度末に比べて1億30百万円増加し、130億95百万円となりました。固定資産は、主にのれん及び投資有価証券等の増加により、前連結会計年度末に比べて7億89百万円増加し、55億46百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は、支払手形及び買掛金、及び借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べて10億29百万円増加し、129億円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて1億9百万円減少し、57億41百万円となり、自己資本比率は30.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月期の連結業績予想につきましては、平成29年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,285,242	958,086
受取手形及び売掛金	8,962,098	9,362,879
商品	2,222,291	2,362,714
未収還付法人税等	98,073	98,220
その他	409,919	331,628
貸倒引当金	△12,628	△17,963
流動資産合計	12,964,997	13,095,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,589,859	3,634,942
減価償却累計額	△1,442,298	△1,506,913
建物及び構築物(純額)	2,147,560	2,128,028
土地	1,650,543	1,668,714
その他	591,017	612,108
減価償却累計額	△512,909	△535,643
その他(純額)	78,107	76,465
有形固定資産合計	3,876,211	3,873,209
無形固定資産		
のれん	—	393,648
その他	61,907	61,808
無形固定資産合計	61,907	455,456
投資その他の資産		
投資有価証券	552,746	796,239
その他	281,065	436,189
貸倒引当金	△14,849	△14,849
投資その他の資産合計	818,962	1,217,579
固定資産合計	4,757,081	5,546,245
資産合計	17,722,078	18,641,810
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,867,455	7,513,867
電子記録債務	3,750,117	3,326,628
未払法人税等	18,610	20,201
賞与引当金	245,936	92,933
1年内返済予定の長期借入金	—	300,000
その他	366,115	388,609
流動負債合計	11,248,235	11,642,240
固定負債		
長期借入金	—	600,000
退職給付に係る負債	403,369	435,740
その他	219,563	222,386
固定負債合計	622,933	1,258,126
負債合計	11,871,168	12,900,367

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,605	627,605
利益剰余金	4,666,153	4,555,982
自己株式	△84,370	△84,370
株主資本合計	5,703,413	5,593,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289,052	280,296
退職給付に係る調整累計額	△144,646	△135,648
その他の包括利益累計額合計	144,406	144,648
非支配株主持分	3,090	3,553
純資産合計	5,850,910	5,741,443
負債純資産合計	17,722,078	18,641,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	11,868,370	13,556,081
売上原価	10,568,439	12,232,061
売上総利益	1,299,931	1,324,019
販売費及び一般管理費	1,336,539	1,452,345
営業損失(△)	△36,608	△128,325
営業外収益		
受取利息	16	5,956
受取配当金	2,345	5,587
仕入割引	9,366	6,513
受取手数料	4,469	4,621
その他	3,426	3,938
営業外収益合計	19,624	26,618
営業外費用		
支払利息	341	2,607
持分法による投資損失	10,488	—
手形売却損	680	706
その他	1,882	759
営業外費用合計	13,392	4,073
経常損失(△)	△30,376	△105,780
特別損失		
固定資産売却損	—	955
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	955
税金等調整前四半期純損失(△)	△30,376	△106,735
法人税、住民税及び事業税	6,627	21,298
法人税等調整額	△7,030	△40,679
法人税等還付税額	—	△2,700
法人税等合計	△403	△22,081
四半期純損失(△)	△29,972	△84,654
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	462
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,029	△85,117

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純損失(△)	△29,972	△84,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66,583	△8,755
退職給付に係る調整額	7,939	8,997
その他の包括利益合計	△58,644	242
四半期包括利益	△88,617	△84,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,673	△84,875
非支配株主に係る四半期包括利益	56	462

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,781,778	68,351	18,240	11,800,019	—	11,868,370
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,300	11	—	2,300	△2,311	—
計	11,784,078	68,363	18,240	11,802,319	△2,311	11,868,370
セグメント利益又は損失(△)	108,911	3,752	△439	108,472	△148,832	△36,608

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△148,832千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△149,132千円、セグメント間取引消去300千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,436,025	101,884	18,172	13,556,081	—	13,556,081
セグメント間の 内部売上高又は振替高	37,278	153	—	37,432	△37,432	—
計	13,473,304	102,037	18,172	13,593,514	△37,432	13,556,081
セグメント利益又は損失(△)	12,442	21,739	2,101	36,283	△164,609	△128,325

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△164,609千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△154,346千円、セグメント間取引消去等△168千円、のれん償却額△10,093千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医療機器販売業」において、当第1四半期連結累計期間より株式会社トムスの株式を取得したことよりのれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は403,742千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」で表示しておりました「医療機器製造・販売業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。